



大正琴・ベル・朗読劇団

ワン  
ONE♡ハート

訪問ボランティア 通信

2017年1月号

NO 183

本部 0467-79-1379  
支部 046-231-3285

1月の活動予定

1/20(金)綾瀬ベルリーダー会議 10:00

1/25(水)ひばりが丘小学校朗読公演:座間ボイス

1/30(月)ひばりが丘小学校朗読公演:座間ボイス

本部より

2017年になりました。新年はいかがお過ごしでしたか。  
12月には皆さんからアンケートを回答して頂きましてありがとうございました。結果は次子に掲載させて頂く予定ですが、たくさんアイデアに溢れたアンケートの数々に、事前アンケートを作成して本当に良かったと感じています。  
今年前半は5月のコンサートに向けての練習の日々になります。  
みんな力を合わせて思い出に残るコンサートに致しましょう。

## 酉年



謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願ひ致します

酉年はなにか新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。さらに「とり」は「とりこむ」にも通じ、良いご縁や高機をばんばん取り込む、「酉」の字にはもともと「果実が熟してきた状態」という意味があるそうです。そこから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」「いままでの努力が報われる時期」ということにもつながっていきます。酉年は収穫の季節なのです。

## 特派員報告

## 落合小・プラザ落合 ベル体験



楽しみながらベル体験です

9月14日落合小学校の《プラザ落合》に伺いました。先ずは子ども達に《ひまわりの約束》という曲を歌って頂きました。なんと素晴らしい歌声でしょう。低・高学年とも元気でしっかりと大きな声で歌ってくれて私たちは聴き入ってしまいました。

次に私たちの演奏です。子ども達に負けない様に《365日の紙飛行機》を聴いて頂きました。曲を知ってる子は口ずさんでくれ嬉しかったです。ベルの体験も今回で2回目でしたが、初めての子は指差しながらタドタドしく、高学年の子はさすがに音もしっかり出ている、みなさんのリーダーシップを発揮してくれました。子どもと触れ合えて元気を貰ってまた練習に励んで頑張りましょう。オー

山田伊津美特派員

## 綾瀬市記念式典に出演



綾瀬市より今年度は124名の方々が表彰され、初めて式典の司会を綾瀬ボイスにと依頼がありました。



表彰式のイベントに出演しました。[おいてけ堀]と[こまげたおせん]の二つの民話を朗読公演しました。

晴天に恵まれた11月23日 綾瀬市 平成28年度 青少年・読書・文化芸術活動の表彰式が行われ、司会と朗読劇の発表を市より綾瀬ボイスに依頼が来ました。

124名の表彰式と言う事で、久々の大舞台に緊張の一日でした。当日の舞台裏では刻々と変更が告げられ、その都度手直しの大変さを思い知らされました。

表彰式の一週間前に市から原稿を頂き先生にアドバイスを頂いたのですがいつもの賑やか中での司会と違いシーンとした中での司会に少し間違えてしまい反省です。ボイスに入って10年余り、最初は頭が真っ白になって何も話せなかった私がこのような機会を頂いたこと感謝です。

ボイスの朗読劇の発表は二作品で私達が作成した民話「おいてけ堀」(幼稚園や保育園に貸出絵本として綾瀬市が本年度作成してくれました。6月、10月号通信に記載)と「こまげたおせん」で共にユーモアの中に現代に通ずる思いやりの心や戒めのある作品でした。

前々日の強雨の中のリハーサル、機材セッティング等と大変な事もありましたが、こんな時こそワンハート、みんなの力を一つにして本番に臨む事が出来ました。(本番に強い！)

会場に来て頂いた方に「ボイスの皆さん、上手になったねえ」と来年の20周年発表に向けて励みになる言葉を頂きました。

綾瀬ボイス 内藤きみ子

綾瀬市、青少年、読書 文化芸術表彰式典の司会を担当させて頂きました。式典の司会と言うといつもの訪問の司会とだいぶ様子が違う初めての経験でした。

でも、きっちりとした原稿があったので訪問の時と違い下調べがないので楽でした。

しかし、訪問のように間違えたり、つまったりしても笑顔でやりすごす事は出来ないもので心配でした。原稿の一枚目は緊張して手が震えてしまいましたが心の中で落ち着いてと言ひ聞かせ少し読んでいると落ち着いてきて何とか無事終える事ができました。

恵美子先生と内藤さんがいると言う安心感もありました。大きな舞台の貴重な経験をさせて頂けたんだなあと思っています。

綾瀬ボイス 中丸幸子